



教育施設長寿命化計画

計画書の概要

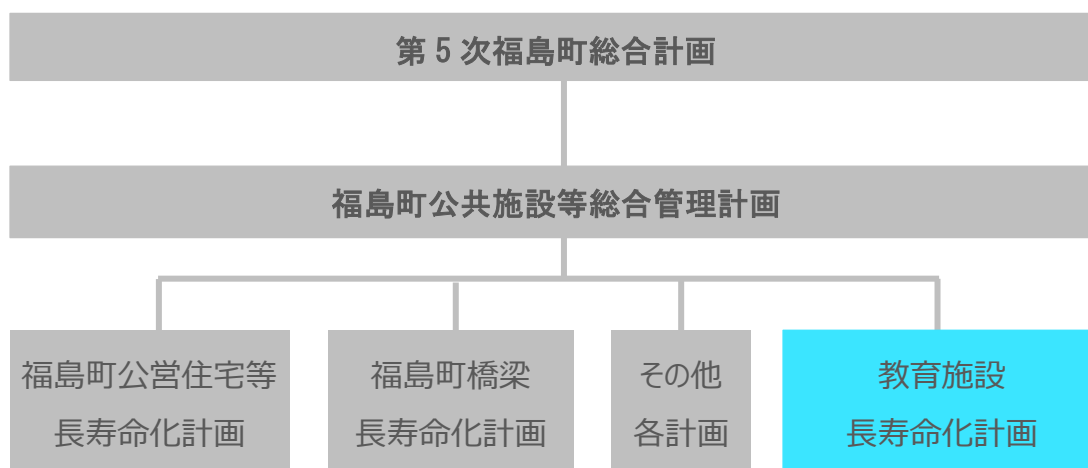
令和3年2月

福島町教育委員会

1-1 計画策定の背景と目的

福島町は、「第 5 次福島町総合計画」を踏まえて、平成 29 年 2 月に「福島町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本計画は、「公共施設等総合管理計画」につづく各種施設の個別計画として位置づけられるものであり、学校施設等に係る上位計画や関連計画を踏まえ、必要な事項を取り入れ整合性を図りながら、施設の維持管理、更新のみならず、多様な機能や役割を充足することを目的として策定します。



1-2 計画期間

本計画の計画期間は令和 3 年度から令和 16 年度までの 14 年間とします。

本計画は長期であり、公共施設を取り巻く情勢変化を踏まえて、5 年程度を目安に随時見直しを行います。

1-3 計画対象建物

対象施設は、教育委員会が所管する福島町内の学校教育系施設 4 施設（20 建物）とスポーツ・レクリエーション施設 3 施設、保健・福祉施設 1 施設、その他施設（教員住宅等）22 施設の、計 30 施設（46 建物）とします。

施設分類	分類 番号	建物 番号	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度 西暦	建築年度 和暦	築年数	基準	構造
学校教育系施設	1	1	福島小学校 校舎-1	1,894.00	1992	H4	28	新	RC
	2	2	福島小学校 校舎-2（南校舎）	1,446.00	1978	S53	42	旧	RC
	3	3	福島小学校 屋内運動場	1,084.00	1997	H9	23	新	S
	4	4	福島小学校 渡り廊下	16.00	1978	S53	42	旧	RC
	5	5	福島小学校 物置	27.00	1992	H4	28	新	W
	6	6	福島小学校 グラウンド内トイレ	30.00	2009	H21	11	新	W
	7	7	福島中学校 校舎	3,123.00	1986	S61	34	新	RC
	8	8	福島中学校 屋内運動場	1,195.55	1996	H8	24	新	S
	9	9	福島中学校 物置	64.00	1986	S61	34	新	W
	10	10	福島中学校 グラウンド内物置	22.36	1981	S56	39	旧	W
	11	11	吉岡小学校 校舎-1	1,770.00	1984	S59	36	新	RC
	12	12	吉岡小学校 校舎-2（特教棟）	362.00	1984	S59	36	新	S
	13	13	吉岡小学校 校舎-3（トイレ）	63.00	1984	S59	36	新	S
	14	14	吉岡小学校 校舎-4（技術室）	172.00	1965	S40	55	旧	S
	15	15	吉岡小学校 体育館	856.00	1984	S59	36	新	RC
	16	16	吉岡小学校 物置	34.00	1984	S59	36	新	W
	17	17	吉岡小学校 グラウンド内トイレ	24.00	1992	H4	28	新	W
	18	18	学校給食センター	449.36	2012	H24	8	新	S
	19	19	学校給食センター車庫	25.00	2012	H24	8	新	W
	20	20	学校給食センターブロワーポンプ室	8.75	2012	H24	8	新	W
スポーツ・レクリエーション 系施設	1	21	ファミリースポーツ公園管理棟	109.31	1999	H11	21	新	W
	2	22	総合体育館	3,177.87	1977	S52	43	旧	RC
	3	23	町民プール	1,019.99	1997	H9	23	新	S
保健・福祉施設	1	24	福祉センター	3,140.57	1976	S51	44	旧	RC
その他 （教員住宅等）	1	25	旧白符小学校（チロップ館）	1,594.50	1969	S44	51	旧	S
	2	26	旧白符小学校 物置	34.00	1970	S45	50	旧	W
	3	27	教員住宅（美山 5 号棟）	289.62	1993	H5	27	新	CB
	4	28	教員住宅（美山 5 号棟） 物置	13.68	1993	H5	27	新	CB
	5	29	教員住宅（美山福島中校長）	73.48	1994	H6	26	新	CB
	6	30	教員住宅（美山福島中校長） 物置	3.30	1994	H6	26	新	CB
	7	31	教員住宅（美山吉岡小校長）	73.48	1994	H6	26	新	CB
	8	32	教員住宅（美山吉岡小校長） 物置	3.30	1994	H6	26	新	CB
	9	33	教員住宅（美山 7 号棟）	289.62	1995	H7	25	新	CB
	10	34	教員住宅（美山 7 号棟） 物置	13.68	1995	H7	25	新	CB
	11	35	教員住宅（白符 10 号棟）	297.54	1998	H10	22	新	CB
	12	36	教員住宅（白符 10 号棟） 物置	12.96	1998	H10	22	新	W
	13	37	教員住宅（三岳 1 号棟）	280.16	1989	S64	31	新	CB
	14	38	教員住宅（三岳 1 号棟） 物置	13.68	1989	S64	31	新	CB
	15	39	教員住宅（三岳福島小校長）	73.48	1990	H2	30	新	CB
	16	40	教員住宅（三岳福島小校長） 物置	19.44	1990	H2	30	新	CB
	17	41	教員住宅（三岳 2 号棟）	280.16	1990	H2	30	新	CB
	18	42	教員住宅（三岳 2 号棟） 物置	13.68	1990	H2	30	新	CB
	19	43	教員住宅（三岳 3 号棟）	280.16	1991	H3	29	新	CB
	20	44	教員住宅（三岳 3 号棟） 物置	13.68	1991	H3	29	新	CB
	21	45	教員住宅（三岳 4 号棟）	280.16	1992	H4	28	新	CB
	22	46	教員住宅（三岳 4 号棟） 物置	13.68	1992	H4	28	新	CB
合計				24,081.20					

2-1 建物の状況

建物は、昭和 50 年代前半から 60 年代前半にかけて整備されたものが多く、築 30 年を経過した老朽化建築物は 21 建物 16,556 ㎡で、全体の 68.8%を占めています。また、旧耐震基準（昭和 56 年[1981 年]5 月 31 日以前に建築確認、適応）による建物は 8 建物であり、学校教育系は 4 建物となっています。

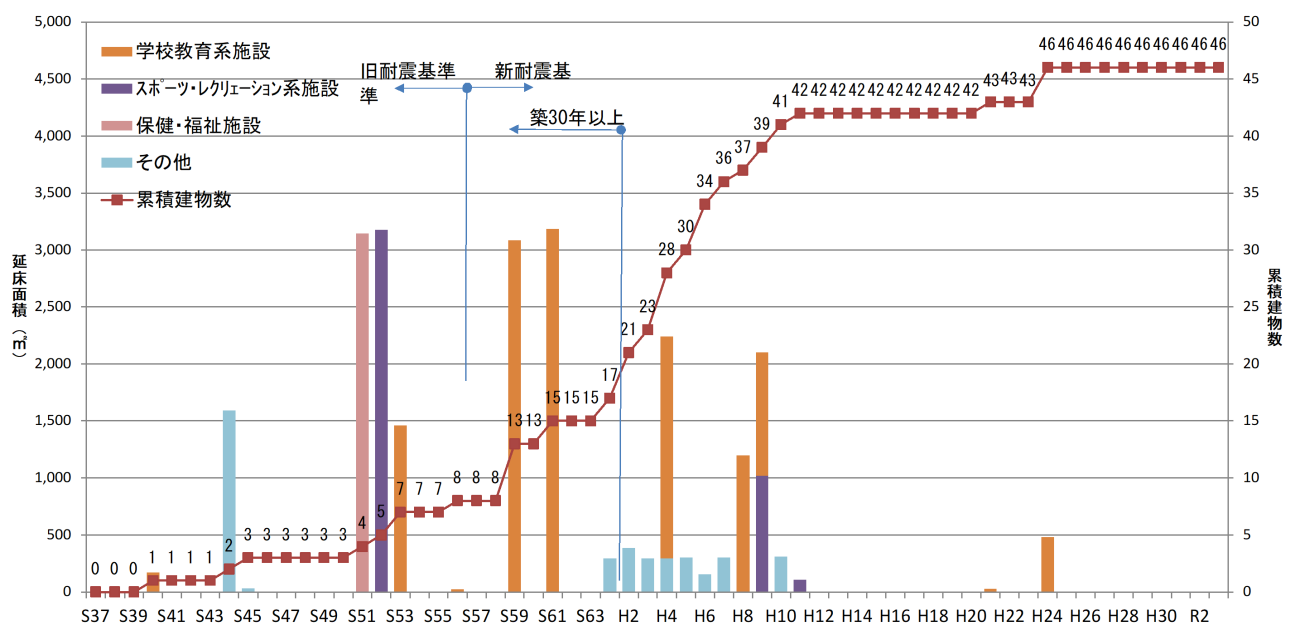
表 2-1 築年数別建物数及び延床面積

築年数	建物数					延床面積(㎡)				
	学校教育系施設	スポーツ・レクリエーション系施設	保健・福祉施設	その他	合計	学校教育系施設	スポーツ・レクリエーション系施設	保健・福祉施設	その他	合計
50年以上	1	0	0	2	3	172	0	0	1,629	1,801
40年以上	2	1	1	0	4	1,462	3,178	3,141	0	7,780
30年以上	8	0	0	6	14	6,294	0	0	681	6,975
20年以上	5	2	0	14	21	4,225	1,129	0	1,658	7,012
10年以上	1	0	0	0	1	30	0	0	0	30
10年未満	3	0	0	0	3	483	0	0	0	483
計	20	3	1	22	46	12,666	4,307	3,141	3,967	24,081

表 2-2 耐震基準の対応状況

耐震基準	建物数					延床面積(㎡)				
	学校教育系施設	スポーツ・レクリエーション系施設	保健・福祉施設	その他	合計	学校教育系施設	スポーツ・レクリエーション系施設	保健・福祉施設	その他	合計
旧	4	1	1	2	8	1,656	3,178	3,141	1,629	9,603
新	16	2	0	20	38	11,010	1,129	0	2,339	14,478
合計	20	3	1	22	46	12,666	4,307	3,141	3,967	24,081

図 2-1 整備年度別延床面積



2-2 建物の施設関連経費

建物の施設整備費、維持修繕費、光熱水費・委託費は、図 2-2、2-3 に示すとおりです。

平成 27 年に総合体育館の耐震改修を実施したため、施設関連経費が多くなっています。5 年平均では 0.7 億円となっています。

図 2-2 施設関連経費の推移

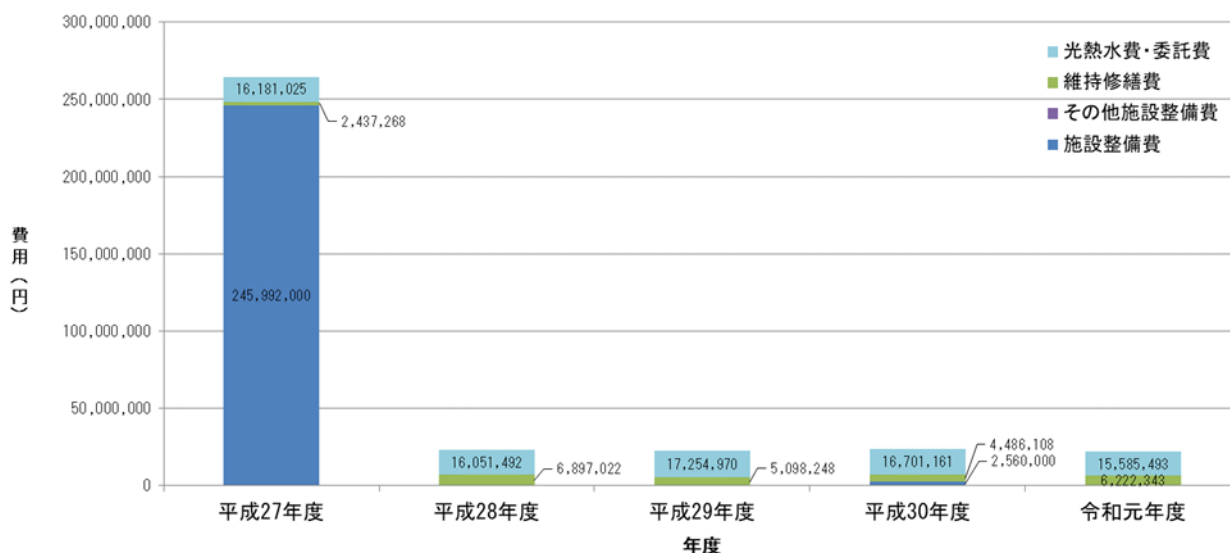
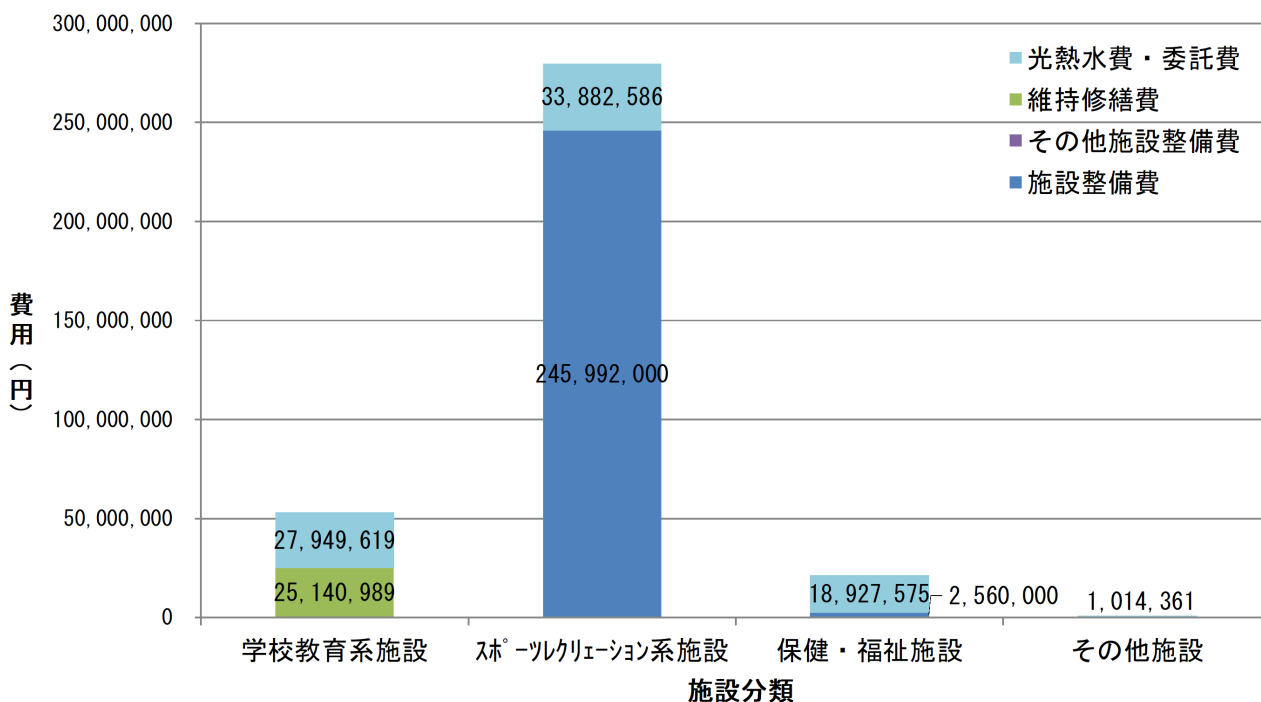


図 2-3 施設分類毎整備費の推移



2-3 児童数・生徒数の推移

平成 26 年度から令和 8 年度間で、一時的に児童数、生徒数が増加する場合がありますが、令和 8 年度の児童数及び生徒数の合計は平成 26 年度の約 58%に減少する見込みです。

図 2-4 児童数（小学校）

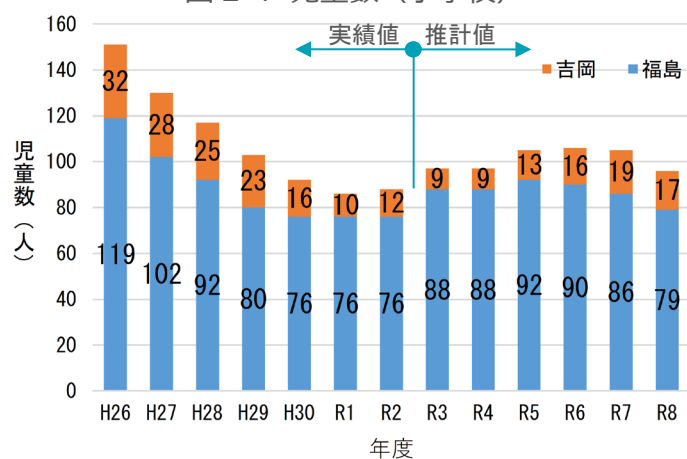
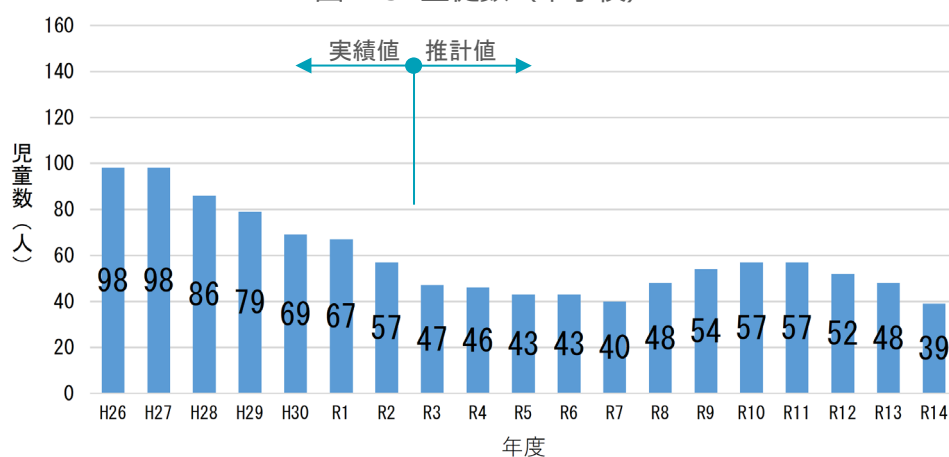


図 2-5 生徒数（中学校）

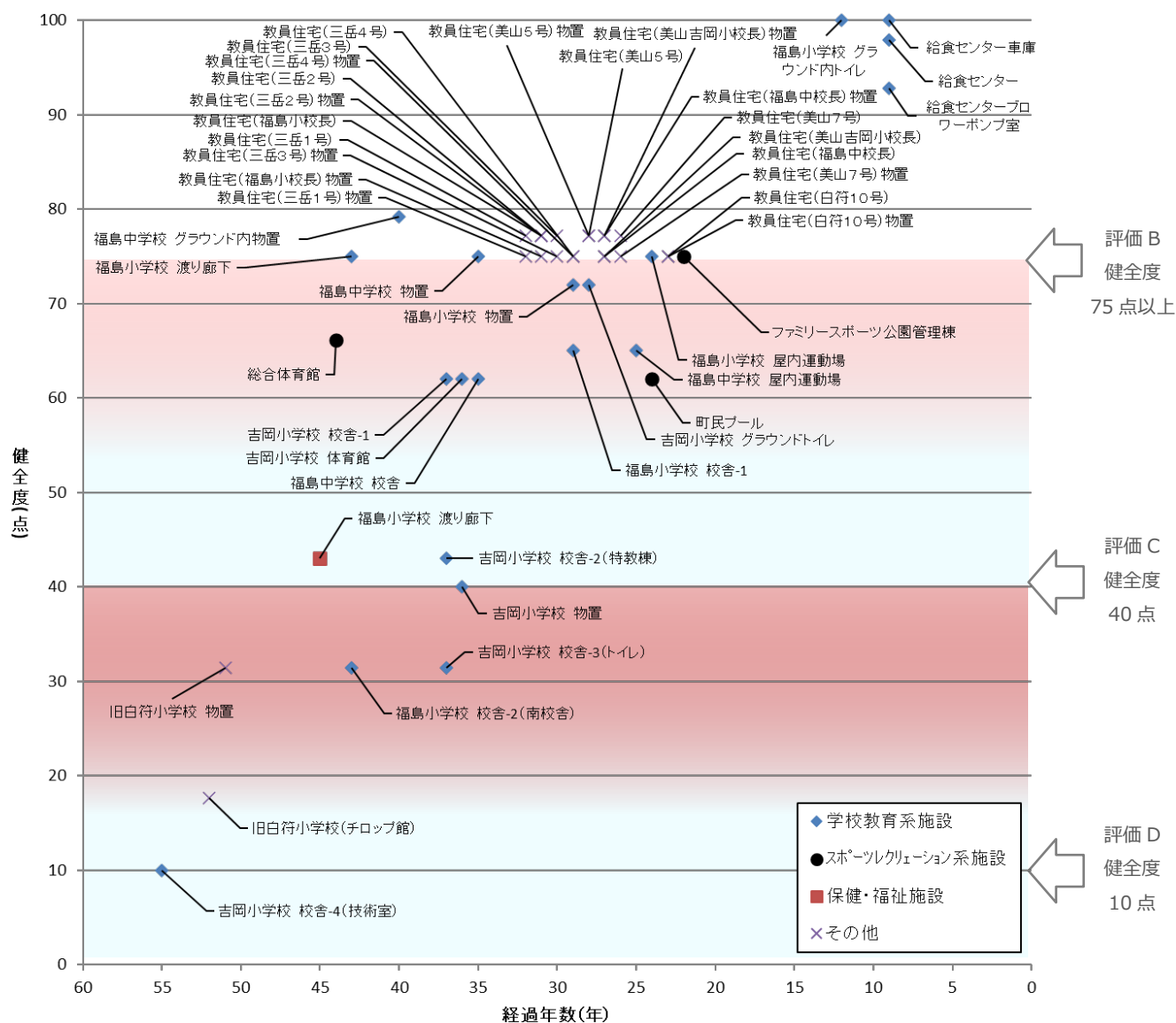


2-4 老朽劣化状況の実態

建物の健全性・劣化状況を把握・評価するために、目視による現地調査を実施しました。

調査は調査票を用いて、各施設の各項目についてその劣化度（A～Dの4段階評価）を判定し、写真に記録後、「屋根・屋上」、「外壁」について劣化状況評価を行いました。「内部仕上げ」、「電気設備」、「機械設備」については経過年数により評価を行い、総合的に施設の健全度を点数化しました。

図 2-6 健全度



2-5 建物調査結果一覧

建物基本情報											構造躯体の健全性						劣化状況評価							
建物 番号	調査 番号	施設名	棟 番 号	種別	建物用途	構造	階 数	延床面積 (㎡)	西暦	和暦	築年 数	耐震 基準	耐震 診断	耐震 補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/ mm ²)	試算上の 区分	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)	
1	1	福島小学校 校舎-1	1	小学校	校舎	RC	2	1,894.00	1992	H4	28	新			2020	21	長寿命	B	C	B	B	B	B	65
2	1	福島小学校 校舎-2 (南校舎)	2	小学校	校舎	RC	2	1,446.00	1978	S53	42	旧	済	-	2020	21	改築	C	D	C	C	C	C	31
3	2	福島小学校 屋内運動場	3	小学校	体育館	S	1	1,084.00	1997	H9	23	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
4	3	福島小学校 渡り廊下	4	小学校	その他	RC	1	16.00	1978	S53	42	旧	済	-	2020	21	長寿命	B	B	B	B	B	B	75
5	4	福島小学校 物置	5	小学校	その他	W	1	27.00	1992	H4	28	新			2020		長寿命	C	B	B	B	B	B	72
6	5	福島小学校 グラウンド内トイレ	6	小学校	その他	W	1	30.00	2009	H21	11	新			2020		長寿命	A	A	A	A	A	A	100
7	6	福島中学校 校舎	1	中学校	校舎	RC	3	3,123.00	1986	S61	34	新			2020	21	長寿命	C	C	B	B	B	B	62
8	7	福島中学校 屋内運動場	2	中学校	体育館	S	1	1,195.55	1996	H8	24	新			2020		長寿命	B	C	B	B	B	B	65
9	8	福島中学校 物置	3	中学校	その他	W	1	64.00	1986	S61	34	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
10	9	福島中学校 グラウンド内物置	4	中学校	その他	W	1	22.36	1981	S56	39	旧			2020		長寿命	C	A	B	B	B	B	79
11	10	吉岡小学校 校舎-1	1	小学校	校舎	RC	3	1,770.00	1984	S59	36	新			2020	21	長寿命	C	C	B	B	B	B	62
12	10	吉岡小学校 校舎-2 (特教棟)	2	小学校	校舎	S	2	362.00	1984	S59	36	新			2020		長寿命	B	C	C	C	C	C	43
13	10	吉岡小学校 校舎-3 (トイレ)	3	小学校	校舎	S	1	63.00	1984	S59	36	新			2020		長寿命	C	D	C	C	C	C	31
14	10	吉岡小学校 校舎-4 (技術室)	4	小学校	校舎	S	1	172.00	1965	S40	55	旧			2020		長寿命	D	D	D	D	D	D	10
15	10	吉岡小学校 体育館	5	小学校	体育館	RC	2	856.00	1984	S59	36	新			2020	21	長寿命	C	C	B	B	B	B	62
16	11	吉岡小学校 物置	6	小学校	その他	W	1	34.00	1984	S59	36	新			2020		長寿命	C	C	C	C	C	C	40
17	12	吉岡小学校 グラウンド内トイレ	7	小学校	その他	W	1	24.00	1992	H4	28	新			2020		長寿命	C	B	B	B	B	B	72
18	19	学校給食センター	1	給食センター	その他	S	1	449.36	2012	H24	8	新	-	-	2020		長寿命	B	A	A	A	A	A	98
19	20	学校給食センター車庫	2	給食センター	その他	W	1	25.00	2012	H24	8	新			2020		長寿命	A	A	A	A	A	A	100
20	21	学校給食センター「の・ほ・ろ」室	3	給食センター	その他	W	1	8.75	2012	H24	8	新			2020		長寿命	A	B	A	A	A	A	93
21	13	ファミリースポーツ公園管理棟	1	その他	その他	W	1	109.31	1999	H11	21	新			2020		長寿命	C	B	B	B	B	B	72
22	14	総合体育館	1	その他	体育館	RC	2	3,177.87	1977	S52	43	旧	済	済	2020	21	長寿命	C	B	B	C	C	C	66
23	16	町民プール	1	その他	その他	S	1	1,019.99	1997	H9	23	新			2020		長寿命	C	C	B	B	B	B	62
24	15	福祉センター	1	その他	その他	RC	2	3,140.57	1976	S51	44	旧	済	-	2020	21	長寿命	B	C	C	C	C	C	43
25	17	旧白符小学校 (チロップ館)	1	その他	その他	S	2	1,594.50	1969	S44	51	旧	-	-	2020		改築	D	D	D	C	C	C	18
26	18	旧白符小学校 物置	1	その他	その他	W	1	34.00	1970	S45	50	旧	-	-	2020		改築	C	D	C	C	C	C	31
27	22	教員住宅 (美山5号棟)	1	その他	その他	CB	2	289.62	1993	H5	27	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
28	23	教員住宅 (美山5号棟) 物置	1	その他	その他	CB	1	13.68	1993	H5	27	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
29	24	教員住宅 (美山福島中学校)	1	その他	その他	CB	2	73.48	1994	H6	26	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
30	25	教員住宅 (美山福島中学校) 物置	1	その他	その他	CB	1	3.30	1994	H6	26	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
31	26	教員住宅 (美山吉岡小学校)	1	その他	その他	CB	2	73.48	1994	H6	26	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
32	27	教員住宅 (美山吉岡小学校) 物置	1	その他	その他	CB	1	3.30	1994	H6	26	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
33	28	教員住宅 (美山7号棟)	1	その他	その他	CB	2	289.62	1995	H7	25	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
34	29	教員住宅 (美山7号棟) 物置	1	その他	その他	CB	1	13.68	1995	H7	25	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
35	30	教員住宅 (白符10号棟)	1	その他	その他	CB	2	297.54	1998	H10	22	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
36	31	教員住宅 (白符10号棟) 物置	1	その他	その他	W	1	12.96	1998	H10	22	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
37	32	教員住宅 (三岳1号棟)	1	その他	その他	CB	2	280.16	1989	S64	31	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
38	33	教員住宅 (三岳1号棟) 物置	1	その他	その他	CB	1	13.68	1989	S64	31	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
39	34	教員住宅 (三岳福島小校長)	1	その他	その他	CB	1	73.48	1990	H2	30	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
40	35	教員住宅 (三岳福島小校長) 物置	1	その他	その他	CB	1	19.44	1990	H2	30	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
41	36	教員住宅 (三岳2号棟)	1	その他	その他	CB	2	280.16	1990	H2	30	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
42	37	教員住宅 (三岳2号棟) 物置	1	その他	その他	CB	1	13.68	1990	H2	30	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
43	38	教員住宅 (三岳3号棟)	1	その他	その他	CB	2	280.16	1991	H3	29	新			2020		長寿命	A	B	B	B	B	B	77
44	39	教員住宅 (三岳3号棟) 物置	1	その他	その他	CB	1	13.68	1991	H3	29	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
45	40	教員住宅 (三岳4号棟)	1	その他	その他	CB	2	280.16	1992	H4	28	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75
46	41	教員住宅 (三岳4号棟) 物置	1	その他	その他	CB	1	13.68	1992	H4	28	新			2020		長寿命	B	B	B	B	B	B	75

3-1 改修の基本方針

1. 点検・診断の実施方法

・施設の点検

日常管理においては点検・保守を行い、建物の劣化及び機能低下を未然に防ぎ、施設を美しく使っていくための維持保全に活用します。

・施設の診断

教育施設等の状況を把握するための施設診断では、施設の安全性、耐久性、機能性及び適法性を診断項目とします。

2. 維持管理・修繕・更新等の実施方針

・維持管理、修繕の実施方針

修繕や小規模改修に関しては、速やかな対応ができるようにし、維持管理及び修繕を自主的に管理し計画的かつ効率的に行うことによって、維持管理費及び修繕費を平準化し、建物にかかるトータルコストを縮減します。

・更新、改修の実施方針

計画的な保全では不具合が発生した都度に対応する保全ではなく、長寿命化計画を策定し、予防保全対策を実施してゆきます。

3. 安全確保の実施方針

点検・診断等により、危険性が認められた教育施設等については、評価の内容に沿って安全確保のための改修を実施しますが、高い危険性が認められた教育施設等や今後も利用見込みのない施設については、総合的な判断により改修せずに併用廃止を検討してゆきます。

4. 長寿命化の実施方針

教育施設等を健康な状態に保つために定期的な調査を行い、点検・保守・修繕・清掃・廃棄物管理等を計画的にきめ細かく実施し、総合的かつ計画的な管理に基づいた予防保全によって長期使用を図る必要があります。設備機能は断熱性能、諸室機能等の要求性能レベルは、通常、時間の経過とともに上昇するため、機能改善の観点からも建築後 15 年を目処に所定の機能や性能が確保されているかの施設点検と診断を行い、小規模改修工事や必要に応じて大規模改修工事を行うなど、そこから計画的な長寿命化を図ります。

5. 施設保有量の適正化

厳しい財政状況を踏まえ、施設の性能と町民ニーズに基づいた廃統合、複合化、規模縮小を進めます。

また、「施設の維持から機能の維持」を視点にの公共サービスを確保しつつ、既存施設の管理運営形態の見直しや機能の集約、複合化などを進め、総量の抑制と経費削減を図ります。

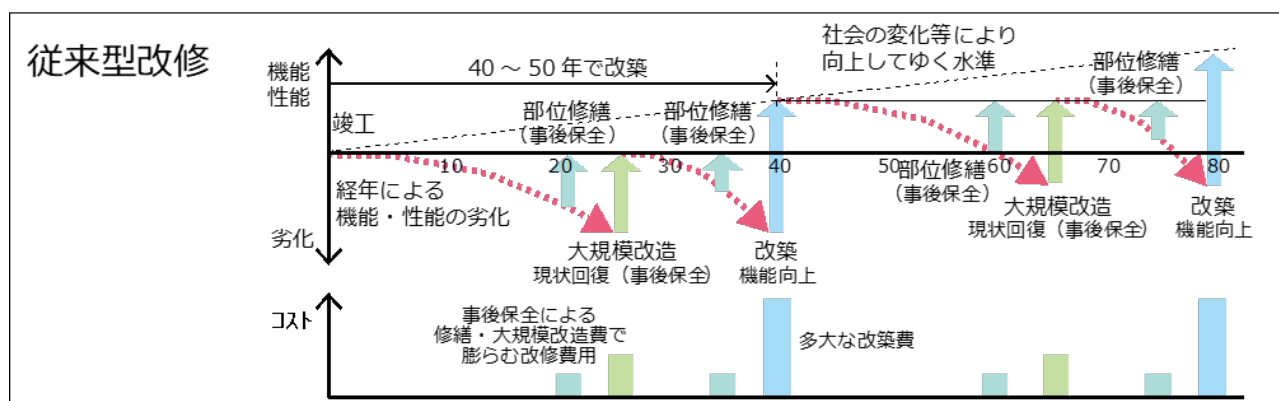
3-2 教育施設等の長寿命化計画

今後、中長期的な維持管理等に係るコストの縮減、予算の平準化を行うために、以下のような施設を除き、建替えから長寿命化改修に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。

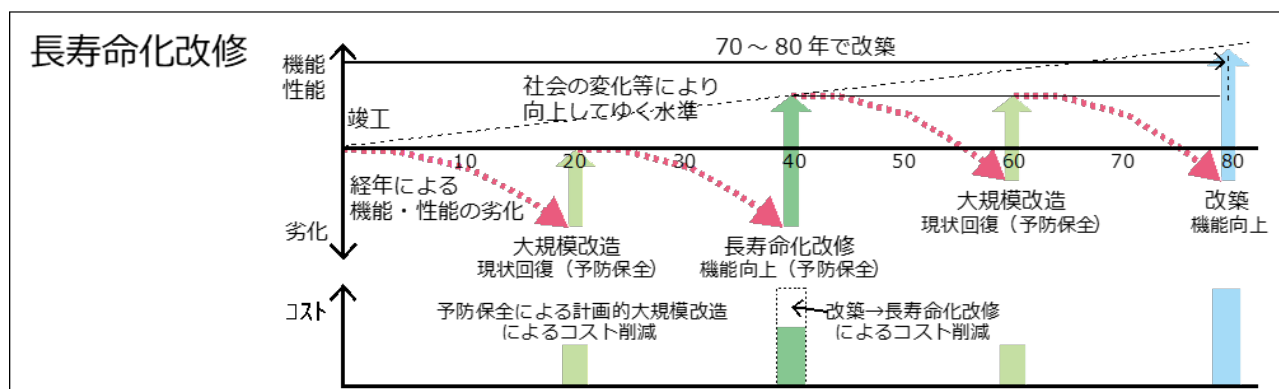
1. 目標仕様年数：鉄筋コンクリート造・鉄骨造 80 年、木造 60 年
2. 改修周期：長寿命化改修は建築後 40 年で実施、大規模改造は建築後 20 年及び 60 年で実施
3. すでに建築後 40 年を超えている建物は、今後 10 年以内に長寿命化改修を実施
4. D評価の部位は 5 年以内に部位修繕、C評価の部位は今後 10 年以内に部位修繕を実施

※上記の目標使用年数と改修周期を原則とし、現在までの改修履歴や地域での施設利用状況等を考慮し、長寿命化計画を策定します。

図 3-1 改築中心の従来型改修から長寿命化への転換イメージ



事後保全：劣化が進行しているため、軽微な補修では対応できず、劣化部位の全面的な更新等を行う必要があり、改修費用が増大する



予防保全：重大な欠陥になる前に計画的に対策を行うことで、改修費用の削減が可能

4-1 長寿命化の実施計画

1. 学校教育系施設

福島小学校については、南校舎の劣化が進んでいます。今後、5 年程度を目安に適正規模による改築を検討します

吉岡小学校、福島中学校については 30 年を経過している建物が多く、劣化が進行しているため、緊急度の高い部分については部位修繕を、また福島小学校校舎は長寿命化改修を行い、建物の長寿命化を図ります。

学校給食センターは建設されて 10 年未満であり、今後、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。

2. スポーツ・レクリエーション系施設

総合体育館、町民プール等の施設については劣化が進行している部分の部位修繕に加え、計画的な改修を行うことで長寿命化を図ります。

3. 保健・福祉系施設

福祉センターは町民の福祉の増進を図る大切な施設であることから、10 年以内に長寿命化等を行い、時代のニーズに合った使いやすく町民に親しまれる施設とします。

4. その他施設

旧白符小学校（チロップ館）は老朽化が激しいため、将来的に除却を検討します。

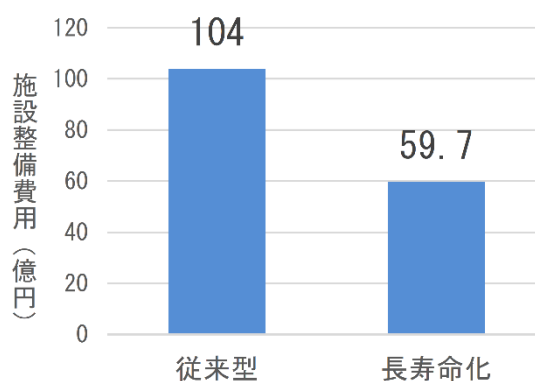
教員住宅については、劣化が進行している建物の部位修繕を早急に行い、時代に合った生活様式の建物とするための長寿命化改修を 10～20 年後を目安に順次行い、長寿命化を図ります。

4-2 長寿命化の効果

長寿命化を行った場合の維持更新費用は、40 年間で 59.7 億円となり、従来型に比べて 44.3 億円の削減が見込まれます。

表 4-1 施設整備費用

	40 年間の総額	年平均
過去 5 年	—	0.7 億円/年
従来型	104 億円 (1.00)	2.6 億円/年
長寿命化	59.7 億円 (0.57)	1.5 億円/年



4-2 今後 10 年間の施設整備計画（令和 3 年度～令和 12 年度）

建物 番号	項目	R3 (2021) 工事種	R4 (2022) 工事種	R5 (2023) 工事種	R6 (2024) 工事種	R7 (2025) 工事種	R8 (2026) 工事種	R9 (2027) 工事種	R10 (2028) 工事種	R11 (2029) 工事種	R12 (2030) 工事種
1	福島小学校 校舎-1 (1992)							部位修繕 (外壁)			
2	福島小学校 校舎-2 (南校舎) (1978)	部位修繕	改築 (基本設計)	改築 (実施設計)	改築 (新校舎建築)	改築 (旧校舎除却)					
3	福島小学校 屋内運動場 (1997)										
4	福島小学校 渡り廊下 (1978)					改築 (旧校舎除却)					
5	福島小学校 物置 (1992)							部位修繕 (屋根・屋上)			
6	福島小学校 グラウンド内トイレ (2009)										
7	福島中学校 校舎 (1986)										長寿命化改修
8	福島中学校 屋内運動場 (1996)						部位修繕 (外壁)				部位修繕
9	福島中学校 物置 (1986)										長寿命化改修
10	福島中学校 グラウンド内物置 (1981)							部位修繕 (屋根・屋上)			
11	吉岡小学校 校舎-1 (1984)							部位修繕 (屋根・屋上) (外壁)			
12	吉岡小学校 校舎-2 (特教棟) (1984)							部位修繕 (外壁) (内部・設備)			
13	吉岡小学校 校舎-3 (トイレ) (1984)							部位修繕 (外壁)(屋根・屋上) (内部・設備)			
14	吉岡小学校 校舎-4 (技術室) (1965)							部位修繕 (外壁)(屋根・屋上) (内部・設備)			
15	吉岡小学校 体育館 (1984)							部位修繕 (屋根・屋上) (外壁)			
16	吉岡小学校 物置 (1984)							部位修繕 (外壁)(屋根・屋上) (内部・設備)			
17	吉岡小学校 グラウンド内トイレ (1992)							部位修繕 (屋根・屋上)			
18	学校給食センター (2012)										
19	学校給食センター車庫 (2012)										
20	学校給食センタープロワーボン ブ室 (2012)										
21	ファミリースポーツ公園管理棟 (1999)	部位修繕		部位修繕							
22	総合体育館 (1977)										
23	町民プール (1997)						部位修繕 (屋根・屋上) (外壁)				
24	福祉センター (1976)								長寿命化改修	長寿命化改修	
25	旧白符小学校 (チロップ館) (1969)						改築 (除却)				
26	旧白符小学校 物置 (1970)						改築 (除却)				
27	教員住宅 (美山 5 号棟) (1993)										
28	教員住宅 (美山 5 号棟) 物置 (1993)										
29	教員住宅 (美山福島中校長) (1994)										
30	教員住宅 (美山福島中校長) 物置 (1994)										
31	教員住宅 (美山吉岡小校長) (1994)										
32	教員住宅 (美山吉岡小校長) 物置 (1994)										
33	教員住宅 (美山 7 号棟) (1995)		部位修繕								
34	教員住宅 (美山 7 号棟) 物置 (1995)										
35	教員住宅 (白符 10 号棟) (1998)	部位修繕									
36	教員住宅 (白符 10 号棟) 物 置 (1998)										
37	教員住宅 (三岳 1 号棟) (1989)										長寿命化改修
38	教員住宅 (三岳 1 号棟) 物置 (1989)										長寿命化改修

4-3 従来型改修と長寿命化改修の比較

今後 40 年間の改修を、従来型と長寿命型で行った場合の、年度毎の維持更新費用を下図に示します。

長寿命型改修を行う事で、改修費用が大幅に削減され、各年度の施設整備費用の平準化が図れます。直近の 10 年間で効果が最も大きく、約 40 億円の維持更新費用の削減が可能です。

図 4-1 従来型

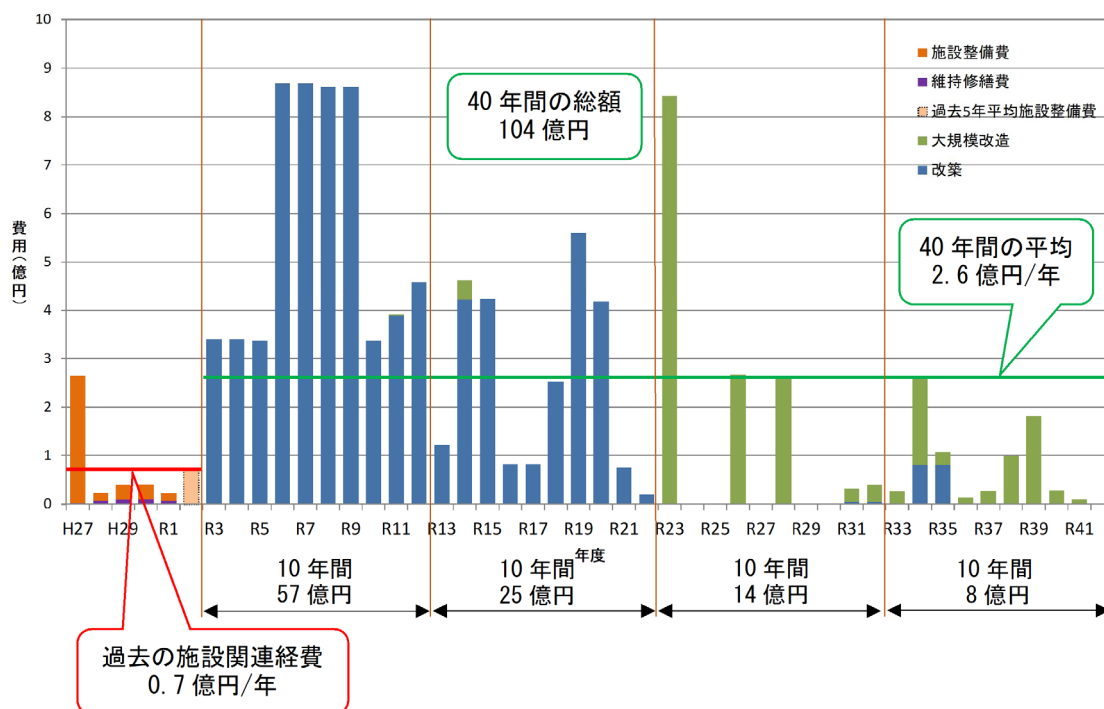
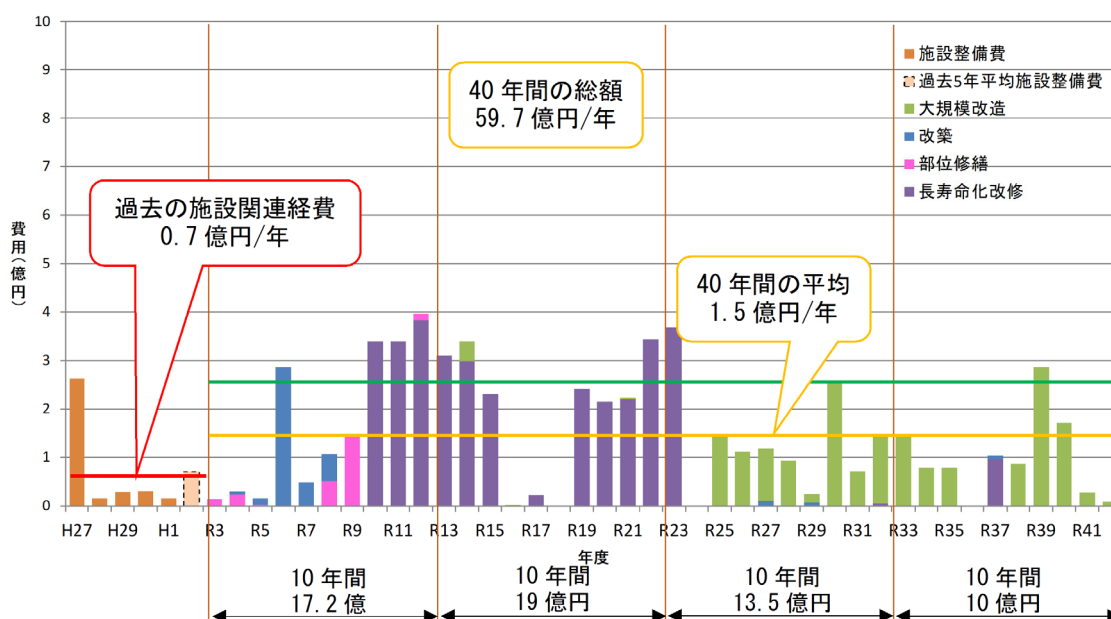


図 4-2 長寿命化型



4-4 継続的な運用方法

1. 推進体制の整備

本計画を継続的に運用していくために教育委員会が中心となって推進していきますが、上位計画である「福島町公共施設等総合管理計画」との整合性や、施設管理に係る技術的サポートの面などから、関連部署と、建物を日常的に管理する職員が連携を図りながら、共通認識を持ち取り組んでいきます。

また、学校施設等の維持管理については、日常点検や管理業務委託による「各種点検調査報告書」を活用して、不具合箇所の早期把握と修繕対応を図っていきます。

2. 情報基盤の整備と活用

持続可能で健全な施設の維持管理の検討を行うに当たり、町民と行政が、町施設に関する情報と問題意識を共有することが重要です。

公共施設を利用し支えている多くの町民と行政が問題意識を共有し、将来のあるべき姿について幅広い議論を進めるために、施設に関する情報や評価結果を積極的に開示します。また、町民からの様々な意見を収集・整理して公共施設等マネジメントに生かす仕組みについても検討を進めます。

建物の情報については、調査表としてデータベース化を行います。公共施設保全システムの活用も視野に入れて、施設基本情報、工事履歴、劣化情報等のデータベース化を図ります。

データは、施設情報に変更が生じた場合や改修などが行われた場合に適宜更新するほかに、毎年度更新の有無を含め内容を確認します。

3. フォローアップ

業務サイクルでは、「町の方針／ビジョン」に基づき、本計画を推進します。公共施設等に対し、日常の運営や維持業務を行う「運営・維持」を実施します。「プロジェクトマネジメント」を実施した公共施設等に対しても、その後は日常の運営や維持業務を行う「運営・維持」の実施を行います。「運営・維持」の対象である公共施設等に対し、数量（供給）、品質、コスト（財務）の面から「評価」を実施します。これらの業務を遂行する核として「統括管理」を推進します。

本計画は、40年間の長期の計画であり、点検・評価結果に加えて、学校教育・社会教育を取り巻く情勢変化を踏まえて5年を目安に随時見直しを行います。

＜業務サイクル＞

